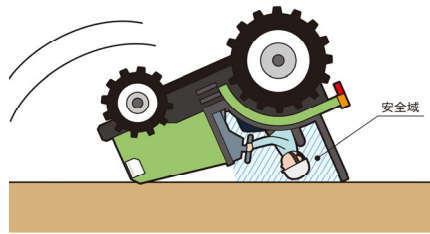


しめよう！シートベルト(秋の農作業安全確認運動重点推進テーマ)

- 乗用型トラクターを使用するに当たっては、シートベルトを着用することにより、死亡事故が大幅に減少することが明らかになっています。
- (65歳以上の) 農業者の約8割が安全キャブ又はフレーム付きのトラクターを使用しているにもかかわらず、シートベルト等を装着している人は約2割に止まっている状況です。
- 農作業死亡事故の減少に向けては、シートベルト着用を促すことが重要となることから、引き続き、農業者に対する声かけ等をお願いします。



- 転落・転倒時に、安全キャブ・フレームの安全域にとどまるためには、**シートベルトの着用**が必要です。

トラクター等の交通事故による死亡者数
(平成27年から令和元年)

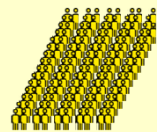
シートベルト **着用あり**



3人

(着用者の人身事故の **3.2%**)

シートベルト **着用なし**

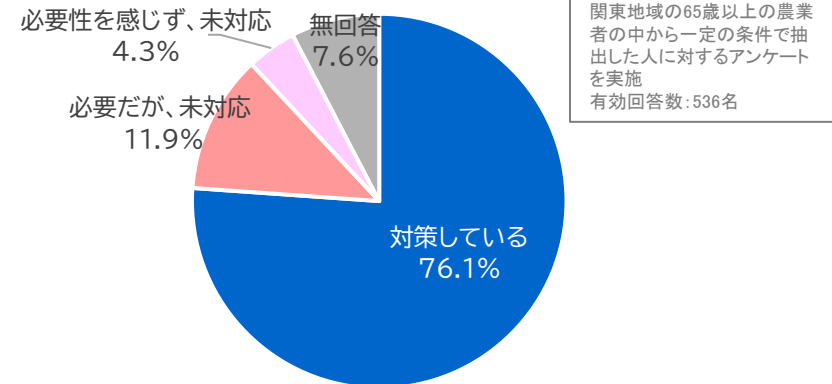


148人

(非着用者の人身事故の **24.5%**)

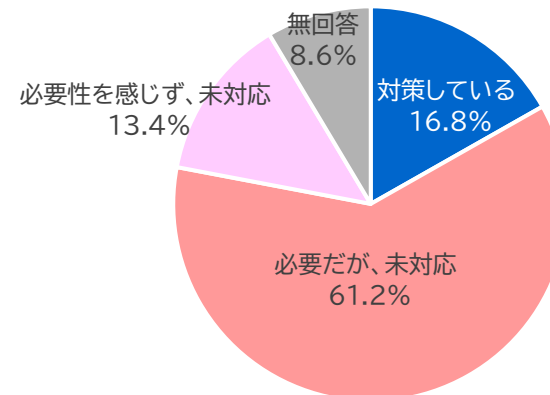
安全フレームを立てて、シートベルト着用を徹底!!

(出典) 統計データ等を用いて農林水産省が整理



関東地域の65歳以上の農業者の中から一定の条件で抽出した人に対するアンケートを実施
有効回答数:536名

安全キャブ又はフレーム付きのトラクターを使用している



関東地域の65歳以上の農業者の中から一定の条件で抽出した人に対するアンケートを実施
有効回答数:536名

シートベルト・ヘルメットを装着している

(出典) 令和2年度高齢者に直接届く農作業安全対策の推進方策に関する意識調査委託事業より抽出

乗用型トラクターにおけるシートベルト装着の効果（事件事例）

事故概要

農道を走行中、右前輪方面に落ち、そのまま1.5m下の休耕田に転落。右側頭部を立てていた安全フレームに打ち付けましたが、軽傷にとどまりました。

負傷状況

軽傷（6針を縫うけが）

安全装備の状況

安全フレーム付き、シートベルト着用

- シートベルトを着用しており、投げ出されず、軽傷で済んだ
- シートベルトを着用していなければ、トラクターの下敷きになった可能性



事故による天蓋のゆがみ

point

公道での交通事故発生時のデータから、シートベルトを着用しない場合の死亡率は24.5%である一方、シートベルトを着用した場合の死亡率は3.2%と、約8分の1に減少することがわかっています。

乗用型トラクターを運転するときは**シートベルトを着用しましょう!!**

「農作業事故等の情報収集の強化に向けた要請について」
(令和2年5月19日付け2生産第302号農林水産省生産局長通知)に基づき、報告のあった事故情報を参考に作成。